

天空ピアノ

～Find Your Own Voice 自分だけの音を奏でよう～

開催報告書

令和7年11月5日

主催：株式会社Kotobito／株式会社とわいろ

共催：富士見パノラマリゾート

後援：信州アーツカウンシル、一般社団法人日本未来支援機構

会場：『森と、ピアノと、』（長野県富士見町）、富士見パノラマリゾート 山頂特設屋外ステージ

■問い合わせ先：info@kotobito.com

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご挨拶：2025年9月13日～15日に実施した3日間の音楽ワークショップ&スペシャルコンサート「子どもたちの新たな音」は、協賛企業・関係各位の多大なるご支援のもと盛況のうちに終了いたしました。

理念：評価や正解から一步離れ、子どもたちが内なる感性と向き合い「自分だけの表現」を見出す教育的・文化的試み。八ヶ岳の雄大な自然を舞台に、音楽を通して自己表現を育むプロジェクトです。

舞台：八ヶ岳の自然と再生ピアノが紡ぐ、音楽・自然・地域を横断する新たな価値創造。静寂な『森と、ピアノと、』と標高1,780mの天空ステージという二つの非日常空間を活用しました。

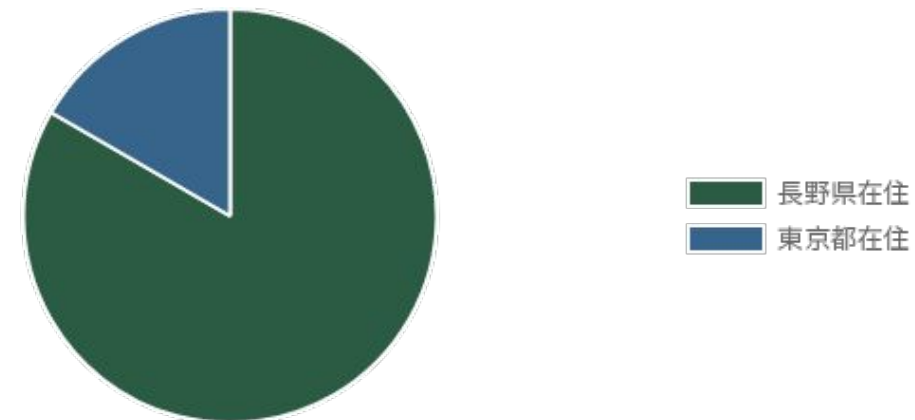
本資料の目的：本報告書では、プロジェクトの実施内容、参加者から寄せられた具体的な成果、地域文化にもたらした波及効果、そして今後の展望について詳細にご報告いたします。

皆様のご支援が、子どもたちの人生に、そしてこの地域の文化に、どのような確かな変化を生み出したかを共有できれば幸いです。

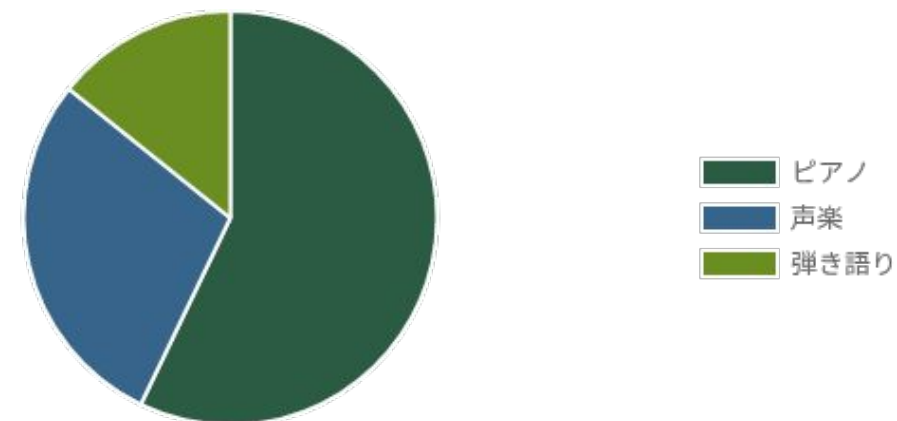
敬具

名称	子どもたちの新たな音 ～Find Your Own Voice 自分だけの音を奏でよう～
開催日時	ワークショップ：2025年9月13日（土）～15日（月・祝）（3日間） コンサート：2025年9月15日（月・祝） 17:00開演
会場	ワークショップ：森と、ピアノと、（長野県富士見町）、 富士見パノラマリゾート コンサート：富士見パノラマリゾート 山頂特設屋外ステージ （標高1,780m）
参加者	ワークショップ：6名（小学4年生～中学3年生） コンサート来場者：200名（満員御礼）
開催体制	主催：株式会社Kotobito、株式会社とわいろ 共催：富士見パノラマリゾート 後援：信州アーツカウンシル、一般社団法人日本未来支援機構

参加者の居住地



参加者の演奏形態



開催目的① — 評価からの解放と自己表現

現代の子どもたちは、日々のレッスンやコンクールで「正確さ」や「結果」という「評価」の軸の中にいます。

評価軸からの脱却：

本プロジェクトでは、「正確さ」「結果」「比較」などの評価軸から一度意図的に離れ、「音楽とは何か」「自分にとっての音とは何か」を根本的に問い直す「余白」を提供しました。

共感の場づくり：

技術指導や競争ではなく、"共に感じ、響き合う"ことを重視。講師は「教える人」ではなく「共に音楽を探究する伴走者」としての役割を担います。

創造性の育成：

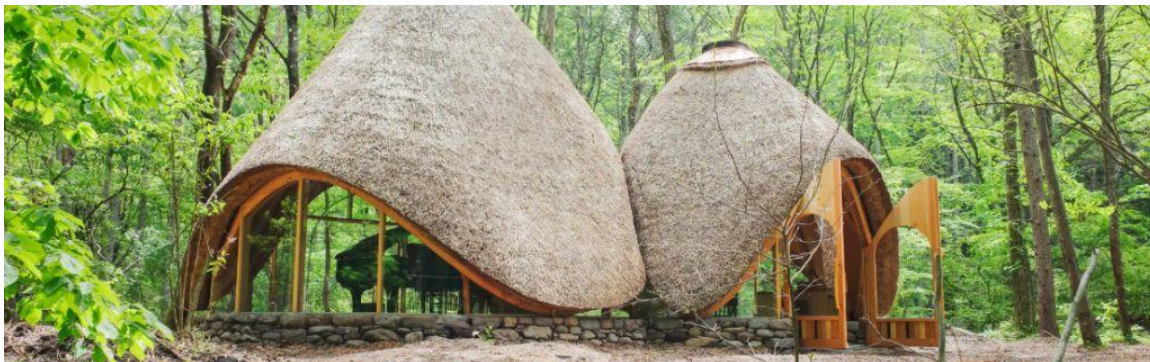
既存の価値基準から解放されることで、子どもたち本来の感性が解き放たれ、自由な発想と独創的な表現が生まれる土壌を育みます。

自己肯定感の醸成：

「上手い/下手」の二元論から離れ、「自分だけの音」を見つけ、大切にすることで、音楽を通した自己肯定感を育みます。これは音楽活動のみならず、人生全体の糧となります。

「正しい音」ではなく、「自分だけの音」を追求することで、音楽本来の喜びと自由な表現を取り戻すきっかけを提供します。

開催目的② — 自然との共鳴と五感の解放



『森と、ピアノと、』 静寂の中で感じる自然



富士見パノラマリゾート山頂 標高1,780m

異なる非日常環境での五感刺激：

森と山頂という性質の異なる二つの非日常的な環境を舞台に、子どもたちの五感を強く刺激。日常では気づかない微細な音や感覚に耳を澄ませる体験を提供しました。

自然を音楽の一部に：

風の音、土の匂い、澄んだ空気。これらすべてを音楽の一部として取り込み、楽譜に書かれていない「自分だけの音」を引き出します。自然の要素が、子どもたちの感性を解放する触媒となりました。

ねらい：

感受性の開放と即興性の育成意図的に異なる自然環境を活用することで、音を「聴く」だけでなく「感じる」という感覚を育み、その場の空気を読み取る即興性を育成します。これは、将来あらゆる場面で生きる創造力の基盤となります。

「音楽は、楽譜の先にある」——自然との共鳴を通じて、子どもたちは楽譜に書かれていない表現を発見しました。

準備プロセス

1. 会場設営：

建築家・大野宏氏（Studio on_Site）設計の特設屋外ステージを新設。

八ヶ岳の稜線と一体化する舞台デザインで、自然との共鳴を視覚的にも実現。標高1,780mの山頂に設営することで「天空の舞台」としての非日常感を創出。

2. 参加者選考：

7月16日より全国公募を開始。単なる技術評価ではなく、応募動画や面接から伝わる「音楽への想い」と「自分を変えたい」という内なる衝動を重視。厳正な一次・二次選考を通じ、多様なバックグラウンドを持つ6名（小4～中3）を選出。

自 応募・選考プロセス

募集期間：2025年7月16日（水）～ 7月31日（木）

一次選考（書類・動画）：2～3分程度の演奏動画をYouTube等に限定公開でアップロード、応募フォームに必要事項と動画URLを記入・送信

一次選考結果通知：2025年8月5日（火）頃

二次選考（オンライン面接）：一次選考通過者に対し実施

最終結果通知：2025年8月21日（木）頃

応募フォームURL：<https://forms.gle/FF4EaL3Gv1VRSQA96>

3. 講師招聘：

地域に根差す音楽家の根本崇史氏、ピアニストの鈴木タリ氏に加え、ジストニアを乗り越えた世界的ピアニスト西川悟平氏を特別ゲストとして招聘。多様な音楽観と人生経験に触れる機会を設計。

4. 広報活動：

プレスリリースはYahoo!ニュース等にも転載され、高い注目を集めた。その結果、コンサート観覧応募が殺到し、席数を当初の150から200へ増枠。最終的に満員御礼となり、プロジェクトへの期待の高さを確認。

「評価」から離れ「自分だけの音」を見つけるというコンセプトと、八ヶ岳の自然という特別な環境、そして『森と、ピアノと、』と富士見パノラマリゾートという二つの非日常空間が、多くの方の共感を呼び、公募段階から高い関心を集めました。

実施内容① — ワークショップ（3日間の流れ）

Day 1【感じる】

『森と、ピアノと、』にて、自然との対話を体験。

- ・ 森の散策による五感の開放
- ・ 自然音に耳を澄ます瞑想的時間
- ・ 評価を外し、ただ「感じる」ことに集中
- ・ 音の性質、響きを身体で感じ取る

Day 2【表現する】

森で得たインスピレーションを形に変換。

- ・ 講師陣との対話から音楽の本質を探究
- ・ 参加者同士の即興演奏でコラボレーション
- ・ 「自分だけの音」を形にする創作活動
- ・ 各自の表現の深化とブラッシュアップ

Day 3【伝えよう】

表現を深め、コンサートで共有する日。

- ・ 西川悟平氏による特別ワークショップ
- ・ 「技術は、伝えるための道具である」を学ぶ
- ・ 午後に「天空の舞台」へ移動
- ・ リハーサルを経て、夕方のコンサート本番へ

Day 1【感じる】

自然環境で感性を解放
森での五感体験

自然と対話

Day 2【表現する】

自分だけの音を創造
創作活動

インスピレーションを形に

Day 3【伝えよう】

音楽を通じた表現と共有
コンサート

実施内容② — スペシャルコンサート

八ヶ岳連峰が夕陽に染まる中、満員の観客200名が見守る特設ステージで開催。
標高1,780mの「天空の舞台」で、ワークショップの集大成を披露しました。



ドキュメンタリー映像

子どもたちの3日間の成長と感動のコンサートの様子をHPよりご覧いただけます。
山頂の特設ステージで響き渡る「自分だけの音」の記録です。

舞台設定：

富士見パノラマリゾート山頂特設屋外ステージ。八ヶ岳の稜線を背景に、自然と一体になる特別な空間で開催。
建築家・大野宏氏（Studio on_Site）設計の特設舞台は、自然の風景と調和するデザインで好評を博しました。

第一部 参加者の発表：

ワークショップに参加した6名の子どもたちが、3日間の成果を披露。ピアノソロ、声楽、弾き語りなど、多彩な表現形態で「自分だけの音」を表現しました。緊張の中にも「自分の音を届けたい」という強い意志が感じられる、堂々とした演奏が印象的でした。

第二部 西川悟平氏 特別演奏：

「7本指のピアニスト」として知られる西川悟平氏が登壇。ジストニアという演奏家の難病を乗り越えた自らの壮絶な体験と「音楽が持つ力」について語り、魂を揺さぶる演奏を披露。「生きることと音楽が直結する瞬間」を会場全体が共有し、多くの観客が涙する感動的な時間となりました。

「音楽は心を伝えるための道具。技術は、伝えるための手段に過ぎない」

— 西川悟平氏 (特別ゲスト)

成果① - 参加者(子ども)の変化

本プロジェクトの参加者満足度を客観的に評価するため、NPSスコア(Net Promoter Score)による調査を実施。

総合満足度（NPS）：+100

「このプロジェクトを友人や仲間に勧めたいか」
(0～10点) という設問に対し：

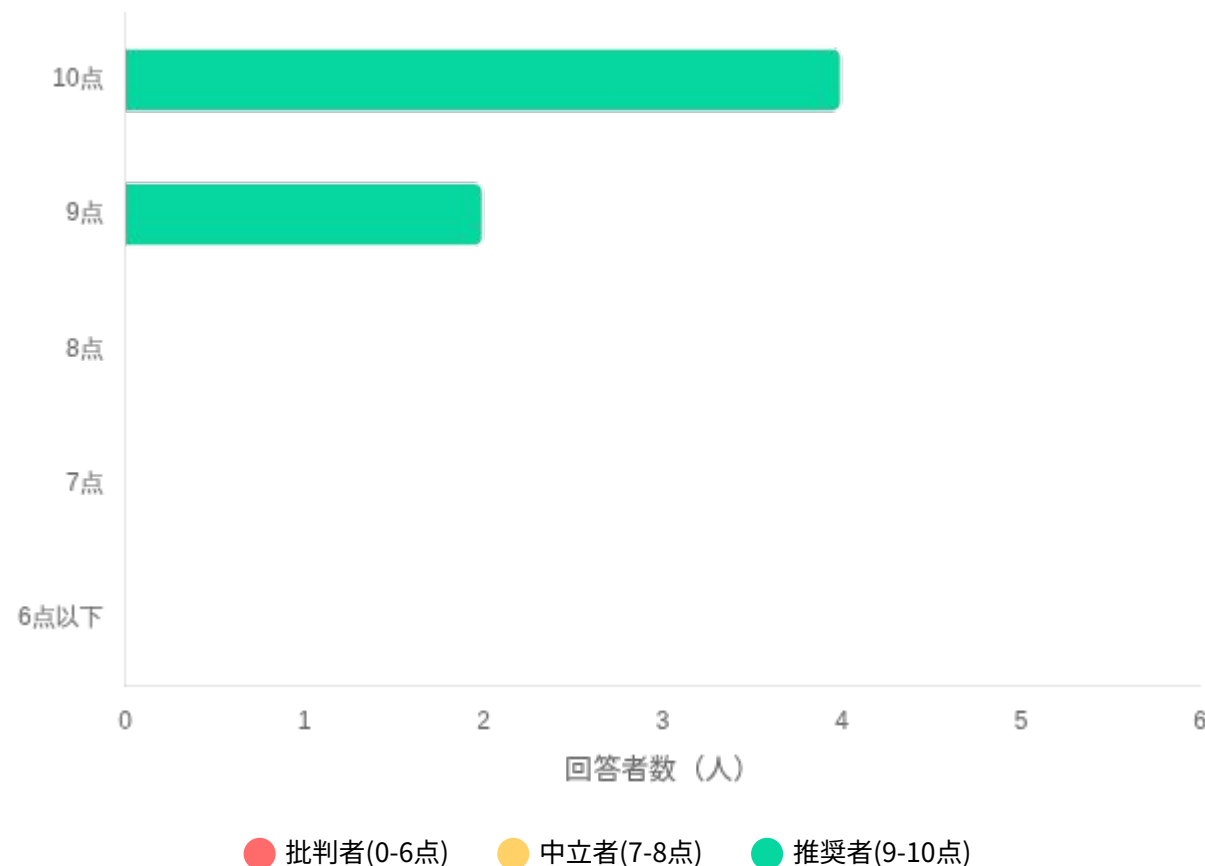
- ★ 10点：4名（すごく伝えたくてたまらない！）
- ★ 9点：2名

※NPSスコア+100は、全員が「推奨者」となる極めて高い満足度を示します。

主な変化：

- ✓ 「比較」からの解放
- ✓ 「正解」からの解放
- ✓ 「自信」の獲得
- ✓ 「自己受容」の深化

参加者（子ども）NPSスコア評価



NPS計算式

NPS = 推奨者の割合(%) - 批判者の割合(%)

今回：推奨者100% - 批判者0% = +100

「自分だけの音」についての発見（アンケート質問⑥より）

“

最初は「自分だけの音って何？」と思っていたけれど、私がいつも弾き語りで「唯一無二の歌い方をしたい」と思って練習している事が
そう言う事なのかなと気付き、自信を持つことが出来た

”

“

他の人と比べなくて、私の音は私のものだと思います。
自然の中で弾く事で、木の葉がゆれる音や川がサワサワ流れる音など
色々なイメージをもっとしやすくなりました

”

“

今までは、「ここをこうして」と言われた通りにひいているだけだったから、
今回のワークショップで「自由に弾いていいんだな」と思いました

”

“

みんなの音を聴いたら緊張した気持ちがどこかに飛んでいき、
人と触れ合うことで、自分の音への道が少し開けた気がしました

”

“

自分の状態はお客様にも伝わる。自分が嫌だなと思っていると、
それも伝わる。自分が心から楽しんだりしていたら、絶対に伝わる

”

“

本番で弾く時はいつもミスタッチをしたらダメだとかプレッシャーが
あったけど今回はそういうことを考えずに弾けて、
あまり緊張せずに演奏できるようになった

”

成果③ — 保護者の評価

プロジェクト後、保護者6家庭にもアンケート調査を実施しました。
「他の家庭にどれくらい勧めたいか」（0～10点）という設問により、プログラムの価値と影響力を客観的に評価いただきました。

総合満足度（NPS）：+83

10点（非常に勧める）：5名

8点：1名

保護者から見た、お子様のポジティブな変化

♪ 表現の変化：

「コンサート後、自分らしさがパワーアップしていた」
「表現する楽しみへのヒントを得られた」

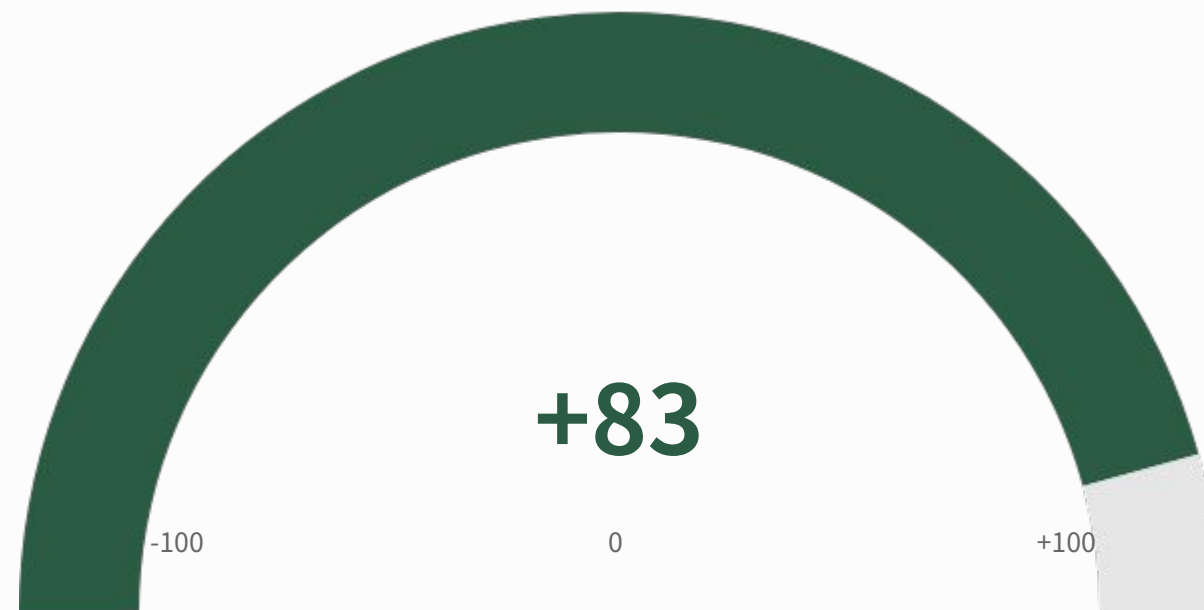
↑ 積極性の向上：

「もっと人前で弾きたい」
「色んな曲をもっと弾けるようになりたいと
新しい楽譜を買って欲しいと言い、夢中で練習」

♥ 自己肯定感・社会性：

「クラスの子と少し話もできるようになった」
「自分の感性を自由に表現できる場がとても素晴らしい」

保護者満足度 — NPSスコア +83



総合評価：「極めて高い支持」

10点（非常に勧める）：5名 / 8点：1名

批判者

0～6点

中立者

7～8点

推奨者

9～10点

※NPS = 推奨者の割合(%) - 批判者の割合(%)

成果④ — 保護者からの声

“

娘は部活以外あまりクラスに馴染めず、伴奏曲以外はピアノを学校の人の前で弾かないのですが、万里君の溢れ出てくる音楽に影響を受け、色々な人にもっと聴いてもらいたい。色々な曲をもっと弾けるようになりたい。と新しい楽譜を買って欲しいと言いました。楽譜が届いた夜に夢中で弾き、次の日にはまだ上手く弾けないけれど軽井沢のストリートピアノで弾いたのが菜々葉のインスタに上がっています。

”

“

「音で情景を描くことの楽しさ」を感じることができたと思っています。演奏曲は、雨や湖、惑星、野原など、自然をテーマにしたものを選び、なつめなりに情景を思い描きながら演奏していました。普段は人見知りで打ち解けるのに時間がかかる性格ですが、音を通してなら素直に心を表現できるようで、音楽の持つ力を改めて感じました。技術ではなく“感じること”を大切にするこのプロジェクトの理念に共感しました。

”

“

根本先生に歌を習いたい！と言って毎日climb every mountainを鼻歌で歌っています。ピアノはやっぱり地道な練習は嫌いですが発表会に向けての選曲や譜読みは今までより積極的にしていました。今回の体験で「表現する楽しみ」へのヒントを得られた感じがします。私も「自由にさせること」の大切さを感じました。

”

“

毎日練習に勉強にと忙しく過ごし都会でデジタルに囲まれている娘ですが、一瞬立ち止まってゆったりした時を感じ自分の心と向き合ういい機会だったと思います。まだ小学生でどうなるのか未知数ですが、今後の人生に影響するような貴重な体験をさせていただきました。同世代の音楽を楽しむ仲間に出会えたことも大きな収穫だったと思います。

”

本プロジェクトは、音楽教育の枠を超え、地域文化・社会に対して多面的な波及効果をもたらしました。メディアでも広く取り上げられ、富士見町の魅力発信に貢献しています。

長野朝日放送のニュース報道

「標高1780メートルのリゾート地に設けられた特別ステージで世界的ピアニスト西川悟平さんのコンサートが開催。子どもたちも成果を披露し、約200人の観客が大自然と音楽の共演を楽しみました。」

参加者の声：

「もう本当に感動しました。皆さん、すばらしいピアノと歌とともに良かったです。
また次があったらぜひ来たいと思います。」

(富士見町内からの参加者)

「感動しました。やはりこの大自然の中で企画を何年も前から、ゼロから立ち上げてくださった方々がいて、子どもたちもすばらしく演奏してくださって。
その中に参加させていただき本当に感動しました。ありがとうございました。」

(ピアニスト 西川悟平さん)

スタッフの声：

「来てくれた人たちの思い出に残るような1ページが提供できたのではと
うれしく思っています。」

(富士見パノラマリゾート 鶴木嘉仁さん)

 Yahoo!ニュース記事を見る |  西川悟平氏のInstagram投稿：356いいね

情報発信：Yahoo!ニュース（NBS長野放送）、エンタメラッシュ等の複数のWebメディアで報道されました。
八ヶ岳の自然と音楽が織りなす独自の文化的価値を広域に発信することに成功し、地域の魅力を全国に伝えることができました。

資源循環：使われなくなったピアノに新たな命を吹き込む「ピアノリレー」（にじいろむじか）の取り組みを活用し、「天空ピアノ」として再生。
地域に眠る文化資源の新たな活用モデルとして、サステナブルな取り組みの象徴となりました。

共創基盤：アーティスト、教育者、子どもたち、地域事業者（富士見パノラマリゾート）、そして行政・支援者が交差する新たな文化共創のプラットフォームを
形成しました。セクターを超えた協働モデルは、今後の地域文化振興の基盤となります。

本プロジェクトは、「評価から解放され、自然の中で自分だけの音を見つける」という当初の目的を、極めて高いレベルで達成することができました。

目的達成：

「プレッシャーから解放された演奏体験」「同じ志を持つ仲間との出会い」「八ヶ岳の自然という特別な環境」の3要素が、参加者の音楽観、ひいては自己肯定感にまで即時的かつ具体的なポジティブな変化をもたらしました。

客観的指標：

事後アンケートによるNPSスコア（推奨意向度）と具体的コメントにより、プロジェクトの高い効果を客観的に確認できました。

子どもたちの評価

+100

10点(4名)、9点(2名)

保護者の評価

+83

10点(5名)、8点(1名)

支援の意義：

ご支援いただいた皆様の想いが、子どもたちの未来と地域の文化に確実に届きました。

音楽を通じた自己表現の喜び、そして地域文化資源の新たな価値創造という形で、具体的な成果として結実しています。

これは単なるイベントの成功ではなく、子どもたちの人生と地域文化に確かな変化をもたらす一歩となりました。

アンケート結果に基づき、本プロジェクトをさらに価値あるものとして継続・発展させるため、以下の点を今後の課題と展望として整理しました。

期間設計：「内省と表現の時間をより深く」という声に応えるプログラムへ

連続日ではなく、前半2日・後半2日など2回に分けるアプローチを検討
期間を空けることで、日常に戻った際の内省と気づきの機会を創出
事前・事後のオンラインセッションを導入し、継続的な成長をサポート

募集スケジュール：遠方からも安心して参加できる体制づくり

募集・選考スケジュールの前倒し実施（開催3ヶ月前までに参加者確定）
遠方参加者が交通・宿泊を十分に準備できる期間を確保

地域連携：文化振興と地域経済の循環を両立させる仕組みづくり

「森と、ピアノと、」での体験をより充実させるための環境整備
地域事業者と連携した飲食ブースの充実（地元食材を活用したメニュー）
宿泊・交通・アクティビティをパッケージ化した「音楽体験ツアー」の開発
自然・音楽・教育を軸にした地域観光の新モデルの確立

本プロジェクトが今後も、音楽・自然・地域・教育をつなぐ長野県発のユニークな文化的取り組みとして成長していけますよう、皆様の引き続きのご支援、ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

本プロジェクトは、多くの企業・団体様からの温かいご支援とご協力により実現いたしました。心より感謝申し上げます。

主催

株式会社Kotobito

株式会社とわいろ

共催

富士見パノラマリゾート

後援

信州アーツカウンシル

一般社団法人日本未来支援機構

協賛

株式会社アーキテクトラボ

8Peaks family

にじいろむじか

株式会社ミクロン精工

株式会社タクト

ステージ設計

Studio On_site

映像協力

E-HEAD Production

マイセンド株式会社

クリエイティブ協賛

株式会社ヤソ

ステージ協賛

株式会社イマージ

本Appendixセクションでは、参加した子どもたちと保護者の皆様からいただいたアンケート回答を、可能な限り全文で掲載いたします。生の声をそのまま共有することで、プロジェクトの真の価値と成果を多角的にお伝えします。

掲載方針：

個人が特定されることのないよう配慮し、回答者はそれぞれA～Fの記号で表記しています。また、お子様と保護者のペアが同じ記号になるよう統一しています。

原文ママ：

回答はすべて原文のまま掲載しており、改行や読点などの最小限の体裁調整のみ行っています。これにより、参加者の皆様の想いをより正確にお伝えします。

構成：

子ども向けアンケート(①NPSと理由、②「自分だけの音」についての発見、③今後の音楽への取り組み)と、保護者向けアンケート(①お子様の変化、②プロジェクトの価値・意義、③スコア理由・良かった点)の全回答を掲載しています。

分析価値：

これらの詳細な回答は、プロジェクトの効果測定と将来的な改善点の検討に活用するとともに、「子どもたちの自己表現」と「地域文化の循環」という本プロジェクトの理念が実際にどのような成果をもたらしたかを示す貴重な証言となっています。

以降のページでは、すべての回答を質問項目ごとに整理して掲載しています。子どもたちと保護者の皆様の率直な声をぜひご覧ください。

子ども向けアンケート① — 質問①②（NPSと理由） A～C

質問①：この3日間のワークショップと天空のコンサートのことを、あなたのお友だちや音楽仲間に、どれくらい「よかったよ！」と伝えたくになりましたか？（0～10点）

質問②：質問①で、その点数をつけた理由を教えてください。

A NPS評価： 10 点

自分だけの音を見つけるために音楽関係の取り組みだけではなく、それ以外でもすごく楽しく過ごせたから。

B NPS評価： 9 点

コンサートで弾けた事が嬉しかったです。新しい音楽が好きな友達ができて良かったです。気持ちいい場所で弾けて良かったです。

C NPS評価： 10 点

自然の中で演奏できたことや、みんなと話し合っ音楽に対しての思いなどを聞いたところがよかったです。

子ども向けアンケート② ― 質問⑥ 「自分だけの音」の発見（全文）

“「自分だけの音」というテーマについて、何か新しい発見や、考えが変わったことはありましたか？いちばん心に残っている発見を教えてください。

A

最初は「自分だけの音って何？それって見つかるものなの？」と思っていたけれど、私がいつも弾き語りで「唯一無二の歌い方をしたい」と思って練習している事がそう言う事なのかなと気づき、今回たくさんの人に私の弾き語りを聴いて貰えて自信を持つことが出来たので、自分の音を見つけることが出来たと思う。

B

他の人と比べなくて、私の音は私のものだと思います。自然の中で弾く事で、色々なイメージをもっとしやすくなりました。例えば、木の葉がゆれる音や川がサワサワ流れる音とかです。

C

今までは、あまり自由にピアノをひくのではなく結構「ここをこうして」と言われたらそのとうりにひいているというだけだったから今回のワークショップでより「自由に弾いていいんだな」とおもいました。

D

元々、自分の音楽を見つめたいと思って参加…みんなの音を聴いたらそんな気持ちがどこかに飛んでいき、人と触れ合うことで、自分の音への道が少し開けた気がしました。…『すべてが私』という考え方を、広げていきたいと考えることができました。

E

自分の状態はお客様にも伝わる。自分が嫌だなと思っていると、それも伝わる。自分が心から楽しんだりしていたら、絶対に伝わる。

F

本番で弾く時はいつもミスタッチをしたらダメだとかプレッシャーがあったけど今回のコンサートではそういうことを考えずに弾けて、そうするとあまり緊張せずに弾けるようになった。前から自分の気持ちを出そうと思って弾いていたけどさらに気持ちを表現できそうだった。

子ども向けアンケート③ ― 質問⑨「これからの変化」全文

質問⑨：この3日間を経験して、これからの音楽の練習や、何かを表現するときの気持ちに、どのような変化がありそうですか？
あるいは、何を変えてみたいですか？

- A 限られたジャンルだけではなくたくさんの曲を弾いて自分も相手も楽しめるようにしたい。
- B 自分の感じたイメージで曲を作ってみたいと思いました。うまく弾けなくても怒らないようにしたいと思いました。
- C これからは、ワークショップでみた綺麗な景色や自然が豊かな感じを思い出してひいてみたいです。
- D 「こうしないと！」のような考えにとらわれず、歌うことを楽しみたい。歌の曲ではないピアノなどの曲にも挑戦したり、自分で音楽を作ったりしたい。
- E 質問6の答えのことを意識します。
- F たまには外の自然を見たら天気とかからいい刺激を受けそうだった。

※原文ママ・回答者はA～Fのアルファベットで匿名化しています

保護者アンケート① - 質問③(お子様の変化)A～C

質問③：本プロジェクトに参加する前後で、お子様の音楽への姿勢や日常生活において、ポジティブな変化を感じる点がありましたか？

A 娘は部活以外あまりクラスに馴染めず、伴奏曲以外はピアノを学校の人の前で弾かないのですが、万里君の溢れ出てくる音楽に影響を受け、色んな人にもっと聴いてもらいたい。色んな曲をもっと弾けるようになりたい。と新しい楽譜を買って欲しいと言いました。
楽譜が届いた夜に夢中で弾き、次の日にはまだ上手く弾けないけれど軽井沢のストリートピアノで弾いたのが菜々葉のインスタに上がっています。

読書が好きで一日2冊のペースで読み終わる本の虫なのですが、これからは本を読むスピード感で譜読みをする！新しい曲にチャレンジする！
今度学校でも弾いてみる！次はどこのストリートピアノに連れて行ってくれる？とイキイキしている娘の姿がとても嬉しいです。

そして、このコンサートのニュースを偶然観た中学校の先生にも声をかけていただき、クラスの子と少し話もできるようになったと聞き、
この企画に参加して、心から良かったと感謝でいっぱいです。

B もっと人前で弾きたいと言うようになりました。森ピのような環境が近くに有れば良いと言っていました。
多分、私が練習中に口出しするのでうるさいと思っているんだと思います。笑

C 根本先生に歌を習いたい！と言って毎日climb every mountain を鼻歌で歌っています。
そういえば保育園時代に最初に習いたいと言ったのが歌だったことを思い出しました。今後どうするかなーと考えています。

ピアノはやっぱり地道な練習は嫌いですが10/25の発表会に向けての選曲や譜読みは今までより積極的にしていました。
今回はソロと、1曲私のヴァイオリンの伴奏をするのですが(グノーのアヴェマリア)、伴奏は楽しそうだしモチベーションが高いです。
今回の体験で「表現する楽しみ」へのヒントを得られた感じがします。

A コンクールで頑張ってきた実績も素晴らしい経験だけど、自分の感性を思いっきり自由に表現できる場、それを見守ってくれる大人が居るという事がとても素敵なプロジェクトだと思います。

B 「音で情景を描くことの楽しさ」を感じることができたと思っています。演奏曲は、雨や湖、惑星、野原など、自然をテーマにしたものを選び、なつめなりに情景を思い描きながら演奏していました。普段は人見知りや打ち解けるのに時間がかかる性格ですが、音を通してなら素直に心を表現できるようで、音楽の持つ力を改めて感じました。

技術ではなく"感じること"を大切にするこのプロジェクトの理念に共感し、娘にとっても忘れられない経験になったと思います。

C 本気で音楽を愛し、音楽に向き合ってる娘にとって、同じ考えを持つ仲間と出会えたことは、本当に貴重な体験だったと思います。そして、講師の先生方、スタッフの方々、みなさんとても温かくて、素晴らしい3日間を過ごすことができました。

しかし、この人数、日数、日程、施設で、「自分の音と向き合う」というじっくりと時間が必要なコンセプトが実現できたのかは疑問です。実際にどのような時間を過ごしていたかは理解しきれませんが、すこし無理があったかなという気持ちは残りました。

最終日に体調を崩してしまいましたが、柔軟にご対応いただき、本当に感謝しております。

保護者アンケート③ ― 質問②(スコア理由・良かった点)全文 A～C

A 特に良かった点

特に良かった点。それは、ただ森の中で演奏したり、山頂でのコンサートに出演できるというのでは無く、根本先生、夕里先生、音楽仲間と温かい時間を過ごせた事、さらに間近で西川悟平さんの音楽に触れられたという奇跡のような体験ができた事だと思います。また石島さん、明香さんのきめ細やかなご対応で、安心して娘をお任せできた3日間でした。

最初にフライヤーを見た時、ワークショップの3日間で皆で新曲を仕上げるのか、それとも持ち曲を披露するのかと言う具体的な事が分からず不安がありながらも、きっと良い体験になるはずと思い応募しました。
第2回目からは今年のプロモーション動画があるので、イメージも浮かび易く更に応募が増えるのではと思います。

B 素敵な場所での演奏体験

素敵な場所で演奏する経験

音楽が好きな仲間と出会う

3週に渡って…というくらい、期間が長くても良いと思いました。

C 貴重なワークショップ

他にないワークショップなので体験してもらいたいと思いました。

遠方から参加だと宿の手配や車がない場合電車の手配、曲目を決めて練習する時間などにももう少し余裕が欲しいので、なるべく早めに参加の可否や具体的な内容がわかると良いかと思います。(特に今回あずさが一杯になることを知らなくて慌てたので早め予約必須な点も、、、！笑)

子ども向けアンケート①（続き） — 質問①②【NPSと理由】 D～F

D【スコア:9】理由:

自然の中で歌ったり、知らない人の中でほとんど1から人間関係を作ること、音楽が真ん中にある、趣味を隠さないようないい関係ができたことがとてもうれしかったです。

1回目ということもあると思うのですが、1日目雨が雨だったことで何をしたらいいかわからなくなってしまったり、まだ関係ができていないこともあり、オドオドしてしまいました。

ですが、2日目、3日目は少し仲が深まったので、自由時間でも楽しかったです。

E【スコア:10】理由:

山の上で歌えるという、ふつうでは経験できない体験。

F【スコア:10】理由:

山の上や森の中でピアノを弾くのがすごく気持ちよかった。いろんな人との出会いがあってたくさん刺激を受けられた。

D 質問：参加後のお子様のポジティブな変化はありましたか？

10枚のチケットでは足りなく、多くの方が来てくださいました。
愛されている喜びを感じ、自信もつきました。これまで以上に感謝の気持ちをもって日々を過ごしているように思います。

E 質問：参加後のお子様のポジティブな変化はありましたか？

沢山の観客の前で演奏することができ自信につながったと思います。また、コンクールとコンサートとでは、評価される観点が全く違い、それを実感することができたことで、音楽に対してより自由な考えを持つことができたと思います。
コンサートの後にも幾つか演奏を披露する機会がありましたが、自分らしさがパワーアップしていたと思います。

F 質問：参加後のお子様のポジティブな変化はありましたか？

毎日練習に勉強にと忙しく過ごし都会でデジタルに囲まれている娘ですが、一瞬立ち止まってゆったりした時を感じ自分の心と向き合ういい機会だったと思います。

まだ小学生でどうなるのか未知数ですが、今後の人生に影響するような貴重な体験をさせていただきました。

ワークショップ内容もさることながら同世代の音楽を楽しむ仲間に出会えたことも娘にとって大きな収穫だったと思います。ありがとうございました。

D

天空ピアノでのコンサートは都会では成し得ない富士見町らなではの催しで、訪れた人に日常では得られない異空間を体験してもらうことができる、面白いイベントだと思います。今回のように有名なピアニストを招けば、町おこしにもつながると思います。また、もう少し飲食を充実させ、食べながら、飲みながら気軽に演奏が聴けたら、もっと幅広い層にアプローチできると思います。

E

少人数で、それぞれの個性を受け止めながら実施いただき、子どもたちにとっても安心・安全な場が作られたかと思います。貴重な機会をいただきまして、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

（初回ですので、もちろん難しい部分はあったかと思いますが、）当初から進行スケジュールが見えやすいとよかったと思います。チケットを当方で購入してご招待する際に、 Gondola チケット付きのパターンなどがあると招待者にシェアしやすかったかと思います。

F

（信頼できる方の企画でしたのでエントリーすることができましたが、）当初、撮影いただいた映像等がどのようなところにアウトプットされるかについて、見えにくかったとは感じます。

保護者アンケート③（続き） — 質問②「スコア理由・良かった点」D～F

質問②：上記のスコアをつけた、主な理由をお聞かせください。

（プログラム内容、講師陣、運営、環境など、総合的に評価いただき、特に良かった点、あるいは改善が必要だと感じた点などを具体的にお書きください）

D

みなさんとても素敵でしたが、特に伴奏をしていただいた万里君の音楽に感銘を受けたようです。

心にすーっと入ってくるような音色で、娘も初めての感覚を味わったようです。

この3日間を過ごして、娘の中に新たなエネルギーが生まれている気がします。また万里君の伴奏で歌える日を楽しみに生きています。

E

本気で音楽を愛し、音楽に向き合ってる娘にとって、同じ考えを持つ仲間と出会えたことは、本当に貴重な体験だったと思います。

そして、講師の先生方、スタッフの方々、みなさんとても温かくて、素晴らしい3日間を過ごすことができました。

今回出会えた仲間達は宝物です。今後の音楽の可能性が広がったと感じました。

F

ワークショップもコンサートもとても充実した内容で親子ともども満足度が高かったため。